すべての子供が自ら考え，行動する学び
～子供同士の学び合いの充実～

資料２

話している時間（思考している時間）が長いのは誰ですか？

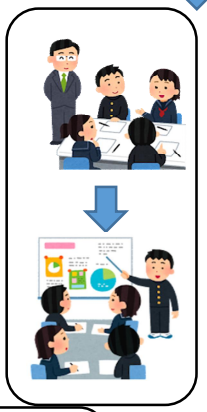
インプットアウトプットの逆転～３：７の学びへの挑戦～

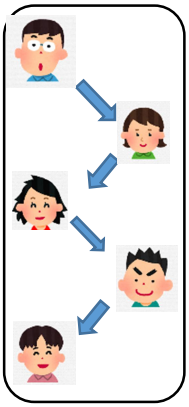
※アウトプット：経験したことや学習したことから得た学びを「話す」「書く」「発信する」など，具体的行動に反映させること

子供同士の学び合い型

価値ある問いにつなげる発問

児童生徒同士で対話





ねらいとする発言が出ているか傾聴

合意形成のための練り合い（児童生徒自身で気づく）

対話を深めるための発問

自ら振り返り⇒Ｒ８０の活用

教師とのやりとり型

問う

答える

問う

答える

問う

答える

答えを与える

ファシリテーターとは…子供同士の学び合いを支援し，促進する裏方のリーダー

ファシリテーターの役割（教師の役割）

1　目標の共有，協働意欲の醸成（価値ある問いをもたせる）

2　参加者全員が意見を出しやすい場の設定と傾聴

3　対話を深めるための発問（あいまいさを解消する発問・気づきを引き出す発問）

4　合意形成のための対立意見等の取り上げ

大切なのは<u>何を伝えるかでなく</u>，児童生徒から<u>何を引き出すか！</u>

児童生徒から**引き出したい言葉（キーワード）や説明を指導案等に明記**しましょう。引き出すための発問の精選も意識しましょう。